

寄せられた意見

No. 44

受付日	H17. 6. 30	年齢	48歳	居住 市町村名	下川町
件名					

釣り人と自然保護を唱える人と漁業者が、今サンルダムをめぐり三者があたかもスクラムを組むかのような報道がありますが、サンルダムに反対する点で一致しているだけではないでしょうか。

釣り人はヤマメが釣れなくなるからサンルダム建設に反対といい、サンル川でヤマメや名寄川でサクラマスを釣っています。サクラマスは、いくらリリースしても魚に与えるストレスや、魚体を傷つけることが考えられ、サクラマスにとって影響は大きいはずです。自然を大切にするのなら、ヤマメやサクラマスが釣れない時期に釣りをしたらいいのではないのでしょうか。


自然保護を唱える人々は、そこに住む我々の暮らしや生活をどのように考えているのでしょうか。

山に木を植え緑を守り、川を育てている我々の取り組みにも理解をして欲しいと思います。我々も流域の中で生活をしていかなければなりません。流域に住む我々の生活と産業基盤を守るためにも、また地域を守るためにも有効な治水対策を早期にお願いします。

天塩川流域委員会事務局 御中

下川町  (48才)

平成17年6月30日

※  箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています。